

オリンパスホール八王子(市民会館)

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	舞台安全管理研修 1回/年	-		第一四半期での実施はなし	-		第二四半期での実施はなし	-		第三四半期での実施はなし	A	目標を達成しており、そのうえでさらに他の施設にまで出向いて研修を受講している。舞台における安全の確保に努めており、評価できる。	【年間2回実施した】 (第四四半期実績) 1/29舞台安全管理研修(19名参加) 3/6他館へ出向いての舞台安全管理体験研修(1名参加)	
	スキルアップ研修 3回/年	-		第一四半期での実施はなし	-		第二四半期での実施はなし	B		10/2コンプライアンス研修実施(21名参加) 10/31障害・障害者に対する知識、理解を深めるための職員研修(1名参加)	A	目標を達成した。施設運営の実務に資する様々な研修を受講している点を評価したい。	【年間8回実施した】 (第四四半期実績) 1/17八王子駅周辺滞留者対策推進協議会講習会(2名参加) 1/29/リスクマネジメント研修(15名参加) 2/6マイノリティ研修(21名参加) マナー・接遇研修(23名参加) 2/7東京都主催「えせ同和行為排除のための講演会」(1名参加) 3/19環境マネジメント研修(21名参加)	
	甲種防火管理者、職長・安全衛生責任者教育修了者、第3級陸上特殊無線技士、上級救命技能認定者、サービス介助士2級、防災介助士、舞台機構調整技能士の資格者選任及び新規取得者 各資格取得者の配置	A	労働安全衛生規則の改正に対応し、自発的に足場組立等作業主任者の講習を受講した点は評価できる。	オリンパスホール八王子指定管理者業務基準書の甲種防火管理者(9人)、職長・安全衛生責任者教育修了者(5人)、第3級陸上特殊無線技士(2人)、上級救命技能認定者(11人)、普通救命技能認定者(1人)、サービス介助士2級(1人)、防災介助士(10人)、舞台機構調整技能士(4人)、足場の組立等作業主任者(4人)資格取得者選任足場の組立等作業主任者技能講習3人新規取得	A	施設の管理運営に必要な資格の保有者を着実に増やしている。安定した施設運営に資するものとして評価できる。	上級救命2人新規取得(延5人新規取得)	A	施設の管理運営に必要な資格の保有者を着実に増やしている。安定した施設運営に資するものとして評価できる。	甲種防火防災管理者講習2人新規取得(延7人新規取得)	A	施設の管理運営に必要な資格の保有者を年間をつうじて着実に増やし、より安定した施設運営につなげていた。	【年間をとおして有資格者を適切に配置した】 (第四四半期実績) 防災介助士資格1名更新 サービス介助士資格 新規取得1名(延8人新規取得)	
定性的	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しており、継続して使用した。	
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	B		ホールの経理システムを使用し効率化、明確化を図っている。また、更なる効率化を目指し経理システムの改良のため、申請データ入力時の不具合修正を行った。	B		ホールの経理システムを使用し効率化、明確化を図っている。また、更なる効率化を目指し経理システムの改良のため、チケットシステムの不具合の修正、検索機能のバージョンアップを行った。	A	経理の更なる明確化、効率化のため、改善を重ねている点は評価できる。	ホールの経理システムを使用し効率化、明確化を図っている。また、更なる効率化を目指し経理システムの改良のため、チケットシステムの不具合の修正を行った。なお、3月にはRITZシステムの改良を予定している。	ホールの経理システムを使用し効率化、明確化を図った。 (第四四半期実績) 経理システムにおいて更なる効率化のため、3月にRITZシステムの改良を行った。
	利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B		適正に実施している。	B		適正に実施している。	B		適正に実施している。	B		適正に実施している。	利用料金の徴収を適正に行った。
	収支計画が適正であること	B		収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例：事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B		市の所管課との定例会議で月報記載の利用状況、予算の執行状況の報告を行っている。	B		市の所管課との定例会議で月報記載の利用状況、予算の執行状況の報告を行っている。	B		市の所管課との定例会議で月報記載の利用状況、予算の執行状況の報告を行っている。	収支計画に沿って適正に執行しており、市の所管課との定例会議で、予算の執行状況の報告を行った。
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B		業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B		共立では毎月舞台技術者をメンバーとしたホール会議を行っており、各ホールの担当者と事故防止のための情報共有を行っている。	B		共立では毎月舞台技術者をメンバーとしたホール会議を行っており、各ホールの担当者と事故防止のための情報共有を行っている。	B		共立では毎月舞台技術者をメンバーとしたホール会議を行っており、他現場での脚立落下事故の情報共有を行った。また、労働安全衛生規則の改正に伴い、足場の組立作業時の特別講習修了証の提出を指導している。	年間をとおして適切な人員配置や育成を行った。 共立では毎月舞台技術者をメンバーとしたホール会議を行っており、各ホールの担当者と事故防止のための情報共有を行った。 【4月1名出席、6月1名出席、7月1名出席、8月1名出席、9月1名出席、10月2名出席、11月2名出席、12月2名出席、1月2名出席、2月1名出席、3月1名出席】
	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	B		適切に実施している。	B		適切に実施している。	B		適切に実施している。	B		適切に実施している。	年間をとおして給与の支出を適切に行った。
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B		事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B		健全な状態である。	B		健全な状態である。	B		健全な状態である。	年間をとおして健全な経営状態を維持した。	
		B		業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B		適切に実施している。	B		適切に実施している。	B		指定管理者である共同事業体が施設の管理運営を適切に実施した。	
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られている	開館日数 350日/年	-		年末年始休館日(平成29年12月29日～平成30年1月3日)及びサザンスカイタワー八王子全館休館日を除く全日	-		第二四半期の開館日数 92日 (延183日)	-		第三四半期の開館日数 89日 (延272日)	A	年末年始の休館日(6日間)以外、全日開館し目標を上回った。	【開館日数実績：年間 359日】 (第四四半期の開館日数) 87日	
	設備点検 25回/年 (設備12回、舞台設備10回、消防設備2回、高所作業1回)	-		設備は電気・空調等維持管理業務、舞台設備は舞台機構・照明設備・音響設備点検業務を年間計画を立て実施	-		8回(延14回) (設備3回、舞台2回、照明1回、消防設備1回、重要設備のメーカー点検1回)	-		5回(延19回) (設備3回、舞台1回、高所作業1回)	A	目標を上回る回数、各種点検を行うとともに、点検結果を積極的な予防保全につなげていた。	【設備点検実績：年間 26回】 (設備12回、舞台設備11回、消防設備2回、高所作業1回) (第四四半期実績) 7回(設備3回、舞台1回、音響設備1回、照明1回、消防設備1回)	
	ピアノ等備品点検 12回/年 (ピアノ 保守点検2回、定期調律10回)	-		ホール備品の中で、ピアノは特に細心の注意を払って性能・品質の維持に努めている	-		2回 (保守1回 調律1回、試弾8回)	-		4回(延6回) (保守1回 調律3回 試弾6回)	3回(延9回) (調律3回 試弾4回)	A	ピアノの点検、調律を目標どおり行ったほか、ピアノが長期間使われないことで不具合が生じないよう自発的に試弾を行い、コンディションを整えていることを評価したい。	【ピアノ等備品点検実績：年間 12回】 (ピアノ 保守点検2回、定期調律10回) (第四四半期実績) 3回(調律3回、試弾6回)
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B		開館日数、開館時間は守られているか 【確認資料例：条例、規則・日報、月報、事業報告書】	B		計画通り実施されている。	B		計画通り実施されている。	B		計画通り実施されている。	年間をとおして計画通り実施した。
		B		減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合) 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B		減免申請無し	B		八王子市民会館条例施行規則に基づき、8/18～20のNHKのど自慢について放送減免を行った。	B		減免申請無し	減免の申請に対し適正に対応した。 (第四四半期は減免申請無し)

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
か	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例:ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めた。	
		修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料例:事業報告書・実地調査】	A	座席は清潔に保たれている。快適に利用してもらいたいとの視点に立った保守を行っており、評価できる。	B	座席の汚れチェックを催事がない日、設備点検の日に行っている。汚れが目立つ場合は、座席を予備と交換し、クリーニングで対応している。	B	快適に利用してもらいたいという視点での保守を継続しており、評価できる。	A	積極的な予防保全策を講じており、指定管理者としての意識の高さを評価したい。	A	各エリアの空調機がそれぞれ1台の運転となっていることから、不具合が生じた場合、冷暖房の供給が出来なくなる。そのため、メーカー保守点検の結果から機器本体の状況と運転時間を総合的に勘案し、中長期整備計画に基づき、予防保全として空調機整備を行った。	A	施設的美観を保つための修繕や長寿命化につながる予防保全を積極的に施している。また、施設の案内用(一部)を使用している市のポスターケースを自発的に修繕し、利便性を高めるなど、前向きに取り組んでいる姿勢を評価したい。
		備品の管理が適切に行われているか【確認資料例:備品台帳・実地調査】	B	日常点検を行い、適切に管理している。	B	日常点検を行い、適切に管理している。9月に備品台帳に記載されている備品の数量確認、点検を行ったが、異常はなかった。	B	日常点検を行い、適切に管理している。	B	日常点検を行い、適切に管理している。	B	日常点検を行い、適切に管理している。	B	日常点検を行い、適切に管理している。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者数 30万人/年	施設来場者数の増進	-	101,916人	-	76,731人 (延178,647人)	-	76,731人 (延178,647人)	-	100,755人 (延279,402人)	A	年間35万人を超える来場があり、目標を大きく上回った。文化芸術の鑑賞・体験の場としての役割を果たすものであり、評価できる。	【利用者数:年間 延352,382人】 (第四四半期末実績) 72,980人	
	時間延長利用件数 100件/年	市民サービス・興行利用等への対応	-	33件	-	35件 (延68件)	-	35件 (延68件)	A	第三四半期で年間目標を達成しており、評価できる。	A	37件 (延105件)	【時間延長利用件数:年間 延146件】 (第四四半期末実績) 41件	
	興行系公演の誘致活動 20件/年	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起	-	7件	-	8件 (延15件)	-	8件 (延15件)	A	第三四半期で年間目標を達成しており、評価できる。	A	11件 (延26件)	【興行系公演の誘致実績:年間 延33件】 (第四四半期末実績) 7件	
	舞台人件発注(ワンストップサービス)件数 20件/年	ワンストップサービス～サービス窓口の一元化による利用者の利便性の向上を図り、催し物の内容に応じて特に専門性の高い舞台人件等の利用者要望に対応	-	9件	-	3件 (延12件)	-	3件 (延12件)	-	3件 (延15件)	-	3件 (延15件)	【ワンストップサービス対応件数:年間 延28件】 (第四四半期末実績) 13件	
	ホームページアクセス件数 30万件/年	八王子市民会館に適した特徴のあるホームページとするとともに、効果的な運営を行う	-	82,962件	-	111,798件 (延194,760件)	-	111,798件 (延194,760件)	-	89,813件 (延284,573件)	-	89,813件 (延284,573件)	【ホームページアクセス件数:年間 延391,213件】 (第四四半期末実績) 106,640件	
	利用者満足度 90%/年	施設利用者の満足度の向上	-	98.0%	-	97.5% (延97.8%)	-	97.5% (延97.8%)	-	98.5% (延98.1%)	-	98.5% (延98.1%)	【利用者満足度:年間 98.1%】 (第四四半期末実績) 98.0%	
	来場者満足度 80%/年	施設来場者の満足度の向上(指定管理者主催事業の来場者に対してアンケートを実施)	-	91.9%	-	91.1% (延91.2%)	-	91.1% (延91.2%)	-	第三四半期での実施は無し	-	第三四半期での実施は無し	【来場者満足度:年間 93.2%】 (第四四半期末実績) 97.5% 4/9響き渡るワタシにてアンケート実施 アンケート回収 62枚(内満足57枚) 7/16ダンス～樹下にてアンケート実施 アンケート回収 157枚(内満足150枚) 8/29第4回選抜訓練コンサートにてアンケート実施 アンケート回収 303枚(内満足269枚) 2/11第6回吹奏楽の響き渡るにてアンケート実施 アンケート回収 238枚(内満足232枚)	
利用者の苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	A	利用者からの声を受け、速やかに対応しており、評価できる。	A	利用者からの要望により、4月から楽屋側にWi-Fiを設置。 5階女性お手洗いの案内看板が分かりづらいため、意見をいただいたため、ピクトサインや地図等を入れ、視覚的に分かりやすい看板にリニューアルした。	A	利用者からの要望を受け、速やかに対応しており、またよりわかりやすい案内表示にした点は評価できる。	A	予めからの懸案事項を、粘り強い対応により解決し、トラブルの解消につなげたことは評価できる。	A	以前からお客様へご迷惑をおかけしていた原因不明のチケット販売システムの不具合への対応として、システム開発業者等と粘り強く検討を重ね、その結果ハードディスク増設、ルーター・ハブの交換を行うことでトラブルが激減した。12月15日以降トラブルの報告は1回のみであった。	A	利用者からの相談、要望等に適切に対応しており、かつ積極的に改善につなげている。指定管理者の特性を活かした取り組みであり、更なる展開に期待したい。 ・学校利用の際に利用者サービスの一環として傘をまとめて入れられるバケツを購入した。 ・前回(第三四半期)に続き、チケット販売システムのPC改良を行った。	
利用料金収入 118,210千円/年	安定的な施設運営における収入目標	-	35,283千円	-	34,639千円 (延69,922千円)	-	34,639千円 (延69,922千円)	-	35,529千円 (延105,451千円)	A	35,529千円 (延105,451千円)	【利用料金収入実績:135,469千円】 (第四四半期末実績) 30,018千円		
地域連携事業 10件/年	地域活動や地域産業と連動したイベントなどへの協力	-	1件	A	第二四半期で年間目標を達成しており、また(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団と共同主催で7/16ダンス～樹下にて開催した。さらに、第67回八王子市民文化祭 市制100周年記念事業 テーマ「文化の花 100年の香りに」に協力をした。	A	9件 上記の件数とは別に市制100周年記念事業として、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団と共同主催で7/16ダンス～樹下にて開催した。さらに、第67回八王子市民文化祭 市制100周年記念事業 テーマ「文化の花 100年の香りに」に協力をした。	A	年間目標を達成したうえで更なる取り組みであり、評価できる。	A	3件 (延13件)	【地域連携事業件数:年間 延15件】 (第四四半期末実績) 2件 ・5月市内中学校職場体験の受入れ(1件) ・7月安町4丁目夏祭りへの協賛、市内花火大会への広告掲載(2件) ・9月市内中学校職場体験の受入れ(7件) ・10月市内小学校社会見学(1件) ・11月イルミネーション点灯式への協力、市内中学校職場体験受入れ(2件) ・2月市内中学校職場体験受入れ、八王子夢街道駅伝への広告掲載(2件)		
(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団のチケット販売協力販売枚数 7,500枚/年	(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団の事業への協力	-	2,082枚 (10,623千円)	-	2,528枚 (13,212千円) (延4,610枚、23,835千円)	-	2,528枚 (13,212千円) (延4,610枚、23,835千円)	-	2,579枚 (16,687千円) (延7,189枚、40,522千円)	A	2,579枚 (16,687千円) (延7,189枚、40,522千円)	【販売枚数実績:年間 延9,427枚、50,865千円】 (第四四半期末実績) 2,238枚(10,343千円)		
市民優先特利用団体 25%/年	八王子の市民団体に優先的に利用してもらえるよう抽選会に市民枠を設定	-	29.3%	-	21.4% (延25.4%)	-	21.4% (延25.4%)	-	30.8% (延27.6%)	A	30.8% (延27.6%)	【市民優先特利用率:年間 29.0%】 (第四四半期末実績) 33.3%		
市民利用(一般利用) 70%/年	市民利用増加の方策	-	70.0%	-	65.8% (延67.9%)	-	65.8% (延67.9%)	-	74.7% (延70.3%)	A	74.7% (延70.3%)	【市民利用(一般利用)率:年間 73.1%】 (第四四半期末実績) 81.8%		
鑑賞事業の利用者 平均70%/年	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起	-	84.7%	-	87.0% (延85.9%)	-	87.0% (延85.9%)	A	鑑賞事業への市民の関心を高めるため、啓発活動を自発的に、また効果的な方法で企画・実施した点は評価できる。	A	76.8% (82.6%) 市民の鑑賞事業への興味を喚起するため、9/30～10/8に八王子駅南口総合事務所多目的スペースで催し物のサイン入りポスター展を開催した。	【鑑賞事業利用率:年間 81.1%】 (第四四半期末実績) 76.7%		
施設の稼働率 90%/年	八王子市民会館利用の誘致・拡大を図る運営	-	93.7%	-	96.3% (延95.0%)	-	96.3% (延95.0%)	-	92.8% (延94.2%)	A	92.8% (延94.2%)	【施設の稼働率:年間 93.4%】 (第四四半期末実績) 90.7%		

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
るか	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B		子安町4丁目目の町内清掃活動に参加し、八王子市役所環境マネジメントシステムガイドラインに沿って保全活動に取り組んでいる。また、季節ごとに生花アレンジメントを配置し、季節感あふれる環境づくりに配慮している。	B		子安町4丁目目の町内清掃活動に参加し、八王子市役所環境マネジメントシステムガイドラインに沿って保全活動に取り組んでいる。また、季節ごとに生花アレンジメントを配置し、季節感あふれる環境づくりに配慮している。	B		子安町4丁目目の町内清掃活動に参加し、八王子市役所環境マネジメントシステムガイドラインに沿って保全活動に取り組んでいる。また、季節ごとに生花アレンジメントを配置し、季節感あふれる環境づくりに配慮している。なお、3月19日に市の環境政策課から講師を招いて環境マネジメント研修を予定している。	B		年間をとおして環境に配慮した施設の管理運営を行った。 (第四四半期実績) 子安町4丁目目の町内清掃活動に参加し、八王子市役所環境マネジメントシステムガイドラインに沿って保全活動に取り組んでいる。また、季節ごとに生花アレンジメントを配置したり、4階入り口様の種いを3ヶ月毎のイベントスケジュールの色に合わせて変更したり、季節感あふれる環境づくりに配慮している。3月19日には市の環境政策課から講師を招いて環境マネジメント研修を行い、スタッフの環境に対する意識向上に努めた。	
		B		空調のスケジュール管理による電力使用量の削減を実施した結果、施策を行わない通常の場合の使用量と比較して、約6.4%の削減を行った。	B		空調のスケジュール管理による電力使用量の削減を実施した結果、施策を行わない通常の場合の使用量と比較して、約6.0%の削減を行った。	B		空調のスケジュール管理による電力使用量の削減を実施した結果、施策を行わない通常の場合の使用量と比較して、約0.1%の削減を行った。	B		年間をとおして約5.7%エネルギーの使用削減を果たした。 (第四四半期実績) 空調のスケジュール管理による電力使用量の削減を実施した結果、施策を行わない通常の場合の使用量と比較して、約5.4%の削減を行った。 (年間内訳) 4月使用量90,353kwh 削減量6,843kwh 5月使用量89,433kwh 削減量5,913kwh 6月使用量79,579kwh 削減量3,719kwh 7月使用量87,754kwh 削減量4,254kwh 8月使用量93,013kwh 削減量5,113kwh 9月使用量89,128kwh 削減量4,006kwh 10月使用量100,208kwh 削減量5,158kwh 11月使用量94,940kwh 削減量6,820kwh 12月使用量93,535kwh 削減量5,715kwh 1月使用量80,040kwh 削減量3,860kwh 2月使用量90,162kwh 削減量4,272kwh 3月使用量99,139kwh 削減量6,279kwh	
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	防災訓練 4回/年(総合訓練1回、部分訓練2回、緊急連絡1回)	B		6/28ホール内緊急連絡訓練実施	A	第二四半期で年間目標に達しており、また避難訓練コンサートでは505名もの参加を得たことを評価したい。	A	7/3ホール内緊急連絡訓練(本社含む)実施 7/13サザンスカイタワー八王子防災訓練参加(部分訓練) 8/29避難訓練コンサートの実施(総合訓練)	A	年間目標を達成したうえでの更なる取り組みであり、評価できる。	A	11/22サザンスカイタワー八王子防災訓練参加(部分訓練)	A	【防災訓練回数:年間 5回】 第四四半期実施なし
	危機管理・安全管理関連研修 2回/年	A	他の施設での危機管理の取り組みを、実際に参加して情報収集する姿勢は評価できる。	4/28パルテノン多摩で行われた避難訓練コンサート参加(1名) 6/7宮地楽器ホールで行われた避難訓練コンサート参加(1名)	-		第二四半期での実施はなし	A	年間目標を達成したうえでの更なる取り組みであり、評価できる。	A	10/2八王子警察署による危機管理講習実施(22名参加)	A	【危機管理・安全管理関連研修回数:年間 5回】 (第四四半期実績) 1/17八王子駅周辺滞留者対策推進協議会講習会参加(2名) 1/29リスクマネジメント研修(15名参加)	
	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	情報の徹底管理を継続して実施した。市からの情報提供、事業者各社からの情報提供を全職員と共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管している。また、事務所内は関係者以外の無断入室を禁止している。また、セキュリティ強化のためホームページのSSL化(※1)を行った。	B		情報の徹底管理を継続して実施した。市からの情報提供、事業者各社からの情報提供を全職員と共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管している。また、事務所内は関係者以外の無断入室を禁止している。	B		B		情報の徹底管理を継続して実施した。市からの情報提供、事業者各社からの情報提供を全職員と共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管している。また、事務所内は関係者以外の無断入室を禁止している。	B	年間をとおして個人情報の適切な管理に努めた。 ※1…これまでは個人情報を入力する場面など、重要な情報をやり取りする場面のみで通信を暗号化する方法が用いられていたが、ウェブサイトの全てのページをHTTPS化(SSL/TLS暗号化)する常時SSLを4月より導入した。
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例:保険証券】	B		年度毎に加入している。	B		年度毎に加入している。	B		B		B		本年度も各種保険に加入した。 ・公立文化施設賠償責任保険(サイバープロテクター含) ・公立文化施設災害補償保険 ・貸館対応興行中止保険
緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	避難訓練コンサートが昨年度よりさらに効果的なものとなるよう、工夫や改善に期待したい。	8月に開催予定の避難訓練コンサートにて、引き続き早稲田大学研究室による訓練実績の研究調査を実施する。より実践的な訓練をするために、誘導員の配置について今後検討していく。	A	誘導や人員体制など、昨年度よりさらに改善し、実践に即した訓練となった。また今回も様々な関係機関と連携して実施しており、評価できる。	8月に第4回避難訓練コンサートを行った。1度訓練したことのある参加者も多く、スムーズに避難することができた。また、ホールでの災害について不安や疑問に思っていることがアンケートに多く寄せられた。次回はそのような参加者の質問に答える時間を設けることを検討したい。	A	訓練で判明した課題や気づきを職員間で共有し改善につなげている。また、報告会を開催し関係機関とも情報共有しようとする姿勢は評価できる。	A	避難訓練コンサートの改善点として、11月から毎朝のミーティングでその日の会場管理体制を確認し、緊急時に適切に対応できるように備えている。また、1月に行う予定の早稲田大学人間科学術院佐野研究室による避難訓練コンサートの研究調査報告会に向けてアンケートや資料を提供し、実施に向けて各所への調整を行った。	A	利用者の転倒事故が年間で2件あったが、適切に対応しており、市への報告も速やかになされていた。また、避難訓練コンサートがより効果的なものとなるよう、よく検討したうえで実施しており、実施後には報告会を開催し各方面と情報共有するなど、高い危機管理意識を持って行動している。 (第四四半期実績) 1月に早稲田大学人間科学術院佐野研究室による第4回避難訓練コンサート報告会を実施した(市役所1名、八王子消防署2名、八王子消防署北野出張所2名、防災センター2名、NTT-F4名、共22名、ホールスタッフ9名参加)。佐野研究室ならではの避難時における人の流れの研究により、滞留しやすい場所、声かけの重要性を改めて学び、災害発生時に備えスタッフの配置など改善点を明確にした。また、報告会を受け、安全対策に配慮し、ベストを追加購入した。	

期末総合評価	A
所管課コメント	<p>【1 施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 人員の確保、有資格者の配置、人材育成のための各種研修の実施など、施設の管理・運営を安定して行うための体制が整えられており、指定管理業務を安心して任せることができた。</p> <p>【2 施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 設備、備品の管理は適切に行われており、また開館日数、時間も適正であった。特に、施設の長寿命化を図るため、修繕など積極的な予防保全策を講じている点は評価できる。</p> <p>【3 施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者数は35万人を超え、また利用者満足度、来場者満足度ともに高い水準であった。利用者からの要望、相談を真摯を受けとめ、積極的に改善につなげている点など、サービス向上や利用者の増加を図る取り組みとして評価できる。</p> <p>【5 事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 施設の稼働率は非常に高く、評価できる。また、市民利用の増加を図る方策や催事事業への市民の関心を高める取り組みが結果として現れており、いずれも目標を達成した。</p> <p>【6 個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理は適切になされており、また、危機管理についても高い意識を持って取り組んでいる。大学との連携により避難訓練コンサートを実施し、危機管理、安全管理に役立っている点も評価できる。</p> <p>【総括】 指定管理者の持つ知識、スキル、ネットワークなどを活かしながら、オリンパスホール八王子が魅力的な施設となるよう、全般的によく取り組まれている。市との情報共有も図られており、施設の管理運営を安心して任せることができた。一方、開館から7年が経過し、少しづつではあるが設備や機器等の劣化による不具合なども見られるようになってきた。そこで、引き続き、積極的な予防保全策を講じるとともに、不具合が発生した際の迅速な対応をお願いしたい。本市の文化芸術施策に沿った、利用者に満足される施設として指定管理者の特性を活かした更なる取り組みや今後の展開に期待したい。</p>